

2021年4月8日
西日本旅客鉄道株式会社

係員が車両のブレーキコックを元に戻すのを失念した事象について（伯備線）

2021年4月7日の普通列車において、一部の空気ブレーキがかからない状態で運転していたことが判明しました。ご利用のお客様には大変ご迷惑をおかけし、申し訳ございませんでした。

1 判明日時

2021年4月8日（木） 午前5時00分頃

2 判明場所

伯備線 新見駅構内

3 当該列車

4月7日（水） 下り普通列車 2両編成 ワンマン ご乗車のお客様：約60名
岡山22：23発～新見23：58着

4 概況

4月8日午前5時00分頃、新見発米子行きの普通列車の運転士は、列車の出発前の点検中に、車両の「空気ブレーキ」に使用する圧縮空気用のコック（1箇所）が閉まっているのを認めました。

確認したところ、4月7日の普通列車（1本）が、一部の空気ブレーキがかからない状態で運転していたことが判明しました。

※お客様にお怪我等はありませんでした。

※空気ブレーキ：圧縮空気によりブレーキをかける装置で、通常使用する「電気ブレーキ」が故障した場合などに使用します。

※空気ブレーキがかからなかった箇所は4箇所中1箇所です。

※今回、「電気ブレーキ」は正常に動作し、ブレーキ力の低下はありませんでした。

5 列車影響

ありませんでした。

6 原因

4月7日に実施した車両検査の際に、係員がコックを扱い、元に戻すことを失念したためです。

7 対策

係員に対し検査の手続き・手順の確実な実行を再徹底します。